

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



2014年  
1、2月合併号



## 目次

- ☆新年の挨拶 ..... 2P
- ☆新年の抱負1 ..... 3P
- ☆新年の抱負2 ..... 4P
- ☆新年の抱負3・虫めがね ..... 5P
- ☆区長懇談会報告・35周年式典感想1 ..... 6P
- ☆35周年式典感想2 ..... 7P
- ☆エニグマルーム・  
きょうされん署名のお願い ..... 8P
- ☆署名用紙 ..... 9~12P
- ☆クラブ活動報告・活動報告・学習会 ..... 13P
- ☆ライオンズ&風の子クリスマス会感想 ..... 14P
- ☆Dormitory Life（小野塚連載） ..... 15P
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載） ..... 16P
- ☆僕の生い立ち（太田連載）・  
和栗連載休止のお知らせ・寄付のお礼 ..... 17P
- ☆きょうされん冬季販売売上げ報告・  
エニグマルーム解答 ..... 18P
- ☆夕会便り・牛乳パック募集 ..... 19P
- ☆編集後記 ..... 20P

新しい年が始まる。風の子会は36歳、僕は43歳という年を迎える。中年と呼ばれてもおかしくない年だ。ためらわず、迷わず、悔いのないよう日々を生きていきたい。

小野塚 航



巻頭文



## 新年のご挨拶



会長の花田政國より新年のご挨拶を申し上げる予定でしたが、多忙を極め、また若干体調を崩しておりますため、掲載を延期させていただきます。申し訳ありませんが、ご了承ください。

本年も風の子会をよろしくお願いいたします。

企画編集部一同



tippig



# 新年の抱負2

1月4日誕生日です。風邪を引かないように頑張りましょう。今年もよろしくお祈りします。

北原 明美

風邪を引かないように頑張りましょう。リハビリ頑張ります。

飯尾 直美

明るく楽しく頑張ります。

青木 和代

元日に82才になりました。今年も皆さんに喜んでもらえる商品（キューピー、メッセージカードなど）をたくさん作り、また皆さんの元気をいただいで、楽しい風の子で元気に1年を過ごします。

松本 成子

今年はお会いを増やす年にしたいです。

塚田 愛基

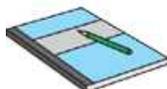
牛乳パック頑張ります。

小野田 浩

竹田ゆかりさんのことが好きで愛しているのでお嫁さんにもraitたいです。

松本 恵司

村上春樹の小説「ノルウェイの森」の中に出てきた台詞「自分に同情するな」なるほどと思うし、思い当たる節もある。なのでこの言葉をしっかり意識しながら生きていきたい。  
小野塚 航



今年やってみたい事は勉強です。ボクは計算が得意です。1+7=8です。19+19=38です。このような勉強をしてみたいです。1年間、宜しくおねがいします。

柳川 敬事

健康第一！！

石田 菜帆

健康管理をしっかりとする。

掛橋 竜也

もう少し冗談などを言えるよう、頑張りたいと思います。

丸山 泰慶

- ・体型維持
- ・ナチュラルメイク
- ・整理整頓

平沼 実華



体と心の健康管理  
日々楽しく

山名 宗孝

- ☆体調管理
- ☆毎日笑顔
- ☆楽しい作業所

石田 美穂

昨年と同様に（？）みんなに頼られる所長として頑張っていきたいです。

岡本 裕介

新年明けましておめでとうございます。昨年中はすごく良いことがあったので、今年も良いことがあるように期待しています。今年はいよいよ一層元気で楽しく人生送りたいと思います。風の子で職員さん、ボウさん達にお世話になるけど楽しく過ごしたいです。今年もよろしくお祈りします。

真部 千代子



## 新年の抱負 3

あっという間に1年が経過してしまいました。去年は、特に可もなく不可もなくといった感じで過ぎていきました。何も具体的な目標、ビジョンを設定せずにいた報いなのか、1年間を通して、何かやり遂げたという充実感は味わえません。今、高校生一人に、主に英語、数学を教えています。彼が来年受験なので、何とか、希望の大学に受からせてやりたい、というのが今の僕の望みです。彼に勉強を教えることが、生き甲斐になっています。最初その仕事を引き受けた時は、一般教養の乏しい僕が引き受けていいのだろうかと悩みましたが、彼、生徒との人間関係、信頼関係も、何とかできあがってきました。けれども正直いって、僕自身、英語などが少し弱くなっているため、今年は、自分自身の学力も強化していきたいと思っています。

ストーン・ゴッド

## 虫めがね ～飼ってみたいペット～

僕の飼ってみたい動物は、今でも忘れられないほど好きだった猫の「フー」です。妹が「ピーコック」に買い物に行ったとき、ちょうど前の飼い主さんが涙を流しながら、「この猫は本当は、手放したくないんですがこの子の兄弟が増えまして、とても飼いきれなくなりましたここに持ってきた次第です」と言われたそうです。

妹は「フー」をもらってくるまでは動物が大嫌い、ところが「フー」がうちに来てからは、すっかり動物が好きになり、今では何と猫を三、四匹も飼うほどの猫好きになってしまいました。何故そんなに猫が好きになってしまったかということ、うちの猫は猫らしくない、非常に変わった猫だったからです。まずお膳の上いくら自分の好きなごちそう「魚」が並んでいても、カミサンが「食べていいわよ」と言うまで食べませんでした。

それから、これは途中から覚えたらしいのですが、トイレは人間と一緒に便所ですませるといって、自分は猫だとは思っていない節が随所に見られる猫でした。

もう一つ変わったことを書いておきたいと思います。それは猫だということに、無口だということです。「フー」が泣くのは一年に二、三回ですから、その「フー」がなくと、なにか起こったのではと思うほど鳴かない猫でした。ほくはもっともっと「フー」の事を書きたいのですが、キリがないのでこれ位にして、またこの欄が回ってきたら続きを書きたいと思います。

太田 稔

20年前、大学近くのアパートで一人暮らしをしていた頃、野良猫が僕になついていた時期があった。冗談半分にねこ缶をあげたら味をしめたのだ。僕が部屋に帰るとどこからともなく現れて玄関前でニャアニャアと泣き続ける。ドアを開けると当然のように入り込み、僕の足にほおずりする。その様子はまるで「はやくごはんをちょうだい」と僕をせかしているようで、僕はあわててねこ缶を開ける。開けるやいなや、ものすごい勢いで食べ始める。5分とかからずぺろりとたいらげて、まるで何事もなかったかのようにすっと出て行ってしまふ。ほんの10分前後の出来事だったけれど、僕はその時間が好きだった。1、2週間くらいそんなことを続けていると、今度はその猫は子猫を連れてきた。母猫だったのかと思いながら4、5匹でニャアニャア泣き続ける様に多少戸惑いながらも必死でねこ缶をあげ続けた。それからしばらくして新橋に越してしまったので、猫たちがその後どうなったかはわからないが、たまにふと思い出したりする。

僕が猫を一人でしっかりと飼育することは正直に言って難しいだろう。でも、できることなら飼ってみたいと思う。



小野塚 航

## 区長懇談会

11月6日に港区役所で区長懇談会が行われました。風の子会からは代表として4名が出席しました。今回の懇談会で挙げた要望は、毎年出してる要望から今年新たに出した要望など、以下の7点を出しました。

- ①特養ホームから通所している人にも補助金を出して欲しい。
- ②台場への送迎をおこなう場合、時間的、距離的にも負担が多いので、特別な補助金をお願いしたい。
- ③災害時の避難場所の確保を引き続きお願いしたい。
- ④車いすでも入れるような大きな料理実習室がほしい。
- ⑤リーブラの申込をもう少し早く行えるようにして欲しい。
- ⑥自転車道の整備を引き続きお願いしたい。
- ⑦田町のスポーツセンターを使わせてもらいたい。

要望に関しては、受け入れられた要望、受け入れられない要望などもありました。しかしながら受け入れられない要望でも毎年出すことに意義があると思いますので、今後も障害視野の生活がより良くなるように色々な要望を出していきたいと思います。

岡本 裕介

## 35周年感想

11月30日（土）12時～15時まで、港区立心身障害者福祉センター（ヒューマンぷらざ）6階体育室にて、風の子会創立35周年記念祝賀会を行いました。参加者は約100名でした。司会は、太田稔さんと私、田中聡でお送りしました。始めに、風の子会会長花田政国の挨拶があり、祝辞を港区長:武井雅明様よりいただきました。次に乾杯の挨拶を、堀信子様にしていただきました。食事や飲み物は、お寿司やオードブルでビュッフェ形式で行いました。司会の2人が取りに行けないのを僕の母が代わりに取ってきてくれたこと感謝いたします。



そして、沢山の皆様から祝辞を頂戴しました。次に『35年の振り返り』をスライド写真と、利用者と職員などから一言コメントを交えながら井出事務局長の進行で行いました。今回は、30～35年の5年間を振り返りました。

それから、メンバーによる出し物をしました。まず先に作業の説明を、企画の石神さんと工房の斉藤さんが分かりやすく説明してくれました。その後、メンバー全員で「花は咲く」を歌いました。前日の練習まで、皆の音が合わずにいましたが、本番になり、皆で大きな声が出ていて良かったなあと思いました。そして最後に、メンバー代表として締め言葉を実部さんに言って戴きました。



少し緊張していましたが、時間通りに終わることが出来て『ホッ』としています。

田中 聡

## 35周年感想2



平成25年11月30日 風の子会も35歳になりましたが、考えてみるとアッという間に時が流れたような気がします。その間に支えてくださった色々な人達(役員、職員、ボランティア、港区)や、父兄の皆様には心から感謝しております。また新たなる目標に向かって(40周年、45周年、50周年)と、メンバーの皆さんも元気に頑張ってゆきましょう。

太田圭子



### 35周年記念パーティを企画して

創立10周年以来、風の子会では5年ごとに記念パーティを開いてきました。10年の節目には少し贅沢に、5年ごとには控えめにという具合でした。35周年はどうするかが夕会や運営員会で話し合われ、やはり記念パーティを、と決まったのが約1年前でした。今回は5年の節目なので、できるだけ手作りで形式ばらないで、支えてくださる方々への感謝をこめて、楽しく過ごしていただきたい、というのが皆の気持ちでした。総務部ではそれに沿って素案を作り、夕会や運営員会で検討を進めてきました。

まず会場は、ホテルや宴会場ではなく、いつもお世話になっているヒューマンぶらざの体育館をお借りすることにしました。パーティという、体育館の本来の目的とは違う使い方をしたいという希望に、ご担当の方々はとても親切に対応してくださいました。会場の設営や撤去、機器の使用、駐車場の準備など、慣れない私たちに詳しく教えていただき、安心して使うことができました。改めてお礼申し上げます。

パーティに重要なのはお料理です。さすがに手作りは無理なので、専門業者に任せることにしました。お料理の内容、値段のほか、体育館なので火が使えないこと、テーブルや食器類もすべて用意してもらえること、などいくつかの条件をじっくり検討して業者を選定しました。

ご祝辞やご挨拶はお世話になったすべての皆様からいただきましたのですが、時間の制限もあり、武井区長様ほか少しの方だけになってしまいました。ご挨拶をいただけなかった方々には失礼をお許しいただければと思います。

余興では、日常の活動やこの5年間の動きをご紹介しようと、メンバー、井出事務局長、職員たちで一所懸命スライドを作りました。時間の関係で活動のすべてはご紹介できませんでしたが、いろいろ面白いものをお見せできたと思います。また、お礼を込めて、皆様も一緒に歌っていただけるように「花は咲く」を練習しました。これには会の顧問医師の小出先生とボランティアの松野さん、



私(岡本)でトランペット、エレクトーン、ヴァイオリンの伴奏をつけました。丸山職員の指揮もなかなか見事で、練習の成果もあり、皆様お楽しみいただけただけなのではないでしょうか。

今回も多くの方々にお手伝いいただきました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございました。おかげさまで35周年記念パーティは大きな事故もなく、無事に終えることができました。とはいえ、いくつか不備なところ、ご不快に感じられたところがあるかと思えます。この場を借りてお詫び申し上げます。これからも風の子会をよろしく願いいたします。



総務部・部長 岡本 明

# Ryo's エニグマルーム

		3			2	1		2	
1	2		2	1				1	
		1					3		1
2				3	1	3		2	
2		1	1					2	
	1					0	1		0
	3		0	1	3				2
1		1					2		
	2				3	3		3	1
	2		1	2			1		

**スリザーリンク（実際のスリザーリンクとは見た目・方法が違う）**  
「1」を「1」で承下下さいませ）

- ・図内の点線のいずれかに実線を引き、盤面全体に一つの輪を作ることを目指す
- ・点線に囲まれた数字は、その数字の周囲の4つの点線の内いくつの実線が引かれるかを示す。数字の無い所は周囲にいくつの実線が引かれるかは分からない
- ・実線は途中で分岐したり、交差したりしてはいけない
- ・実線が二つ以上の輪に分かれてはいけない

## きょうされん署名

きょうされん第三十七次国会請願署名・募金のお願い

今年もきょうされんの「国会請願署名・募金運動」キャンペーンがスタートしました。今回の請願項目は以下の三点です。皆様のご協力をお待ちしています。

- 一、障害者総合支援法を「骨格提言」にそって早急に改正してください。
- 二、介護保険優先原則を見直し、本人の希望で支援を選べるようにして下さい。
- 三、一人の市民として安心して暮らせるよう、障害基礎年金額を引き上げてください。

**署名、募金にご協力いただく皆様へ**

詳しくは同封の署名用紙をご覧の上、ご記入下さい。何かご不明な点がある方は、職員の岡本までお願いします。

※署名用紙は沢山ございますので、追加で郵送することもできます。その時は遠慮なくお申し付け下さい。

※署名、募金にご協力下さる方は、風の子会職員にお渡し下さるか、左記住所までご郵送をお願いします。

署名用紙の送付・お問い合わせは・・・特定非営利活動法人 風の子会

住所：〒108-0075

東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜302

電話：03-3474-9674

## クラブ活動報告

現在、毎月最終土曜日、クラブ活動が午後1時から4時半まで行われていて、その後反省会をしています。このクラブ活動は、毎週行われている学習会とは違い、個人単位（少人数）でボランティアさんと一緒に活動するものです。現在活動しているクラブは、料理部・将棋部・運動部・合唱部・編み物部・読書部・パソコン部・仕事部です。料理部は、鉄板で手軽にできる料理を作って試食しています。私が属している運動部では、筋トレやストレッチを中心に体力維持を目的としています。12月の活動は、クリスマス会と重なった為、7日の土曜日に行いました。運動部では今回港区スポーツセンターの温水プール（25m×10m）を使い筋力トレーニングを2時間しました。8月の時は芝フィールドパークのプールで浮き輪が使えたのですが、今回は室内なので巻きつけるタイプのスイムヘルパーを使用しました。2014年最初のクラブ活動は、1月25日です。

三木 直人

11月は港特別支援学校から高校3年生の女性が見学に来ました。

35周年の余興で歌う「花は咲く」の練習をしました。11月の25日～10日間の間読売理工の学生さんが実習に来て一緒に歌を歌いました。

12月はほとんどクリスマス会の準備でした。クリスマス会は楽しかったです。

12月はクリスマス会の準備に追われていてあつという間でしたが、来年もコツコツと働きたいです。

塚田愛基

活動報告

## 学習会報告

11月 6日（お菓子作り）

朝生君・斉藤君が担当になり、たこ焼きとケーキ作りをしました。たこ焼きはたこ焼き器を使い最初から、ケーキは買ってきたスポンジケーキに皆でクリームを塗ったりフルーツを飾ったりしました。

13日（国語・テーブルゲーム）

掛橋さんが担当で、漢字の勉強をしました。漢字の発祥や伝来について学びました。

テーブルゲームはトランプ・人生ゲーム・オセロを班に分かれてやりました。

20日（羽田空港）

羽田空港を見学しに行きました。着いたら見学をするために班で分けられました。主には皆展望デッキに行き、飛行機や滑走路などを見学しました。

27日（消費税・歌練習）

塚田君が担当で消費税関連の事を学びました。他国の税率との比較や、なぜこの位の税率かなどの話し合いをしました。

歌は、35周年式典で歌うための歌『花は咲く』の練習を行いました。

12月 4日～25日（水曜日の今後の在り方）

水曜日に行う事について話し合いました。

今の学習会の活動が難しくなってきたので見直すために一度学習会を中止にし、暫くは水曜日も仕事の日になりました。

仕事時間は学習会の時と変わらず、13時から14時と14時半から15時半になりました。送迎の時間も今迄通りです。

また意見等があれば、復活するかもしれません。



# 風の子クリスマス

十二月二十一日、午後の時間、クリスマス会が盛大に行われました。前半は飲み食いが中心で、後半の時間には「クイズ大会」が行われました。僕の場合、普段はお酒を飲まず、クリスマス会、忘年会などの特別な日にだけしか飲まない決めていたので、その日は、ここぞとばかり、ビールを飲みまくりました。後半のクイズは、数理的問題も含めた難問が何題か出題されました。僕は、学力は多少あり、将棋も指せるのですが、なにぶん頭がかたく、機転がきかないタイプなので、酔っぱらっていたせいもあったのでしようが、クイズの時間は悪戦苦闘でした。というより完全に「お客さん」でした。それにしても、去年もそうでしたが、「クリスマス会」に参加したのは学生時代以来なので、他の行事に参加できることも含めて、風の子会に入会して本当に良かったと思っています。

ストーン・ゴッド

## ライオンズクリスマス会

平成25年12月21日、青山神宮ライオンズさんのクリスマス会に松本（親子）・真部さん・反町さん・三木さん・ヘルパーさんの6名で、風の子を代表して楽しんでできました。毎年楽しい時間をありがとうございます。来年も待ってますよ！

松本 成子

2013年12月21日（土）青山にある青学会館で東京神宮ライオンズ様のX'mas会にメンバー6名御招待頂きました。（午後6時から8時45分まで）松本成子さんに代表の挨拶をしていただきました。乾杯に始まりお楽しみ抽選会、そして最後に「ホワイト=クリスマス」を歌い「蛍の光」で閉会となりました。美味しい料理に参加賞のお菓子の詰め合わせと毎年招待して頂き、ライオンズクラブの皆さんありがとうございました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

三木 直人

## わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第59話 つまらないエピソード

年末か年明けかどちらだったか定かではないが、イチとトモとヒロセと僕の4人で遊園地に行ってみようということになった。事前に話し合っただけで時間を決めて予定を立てて、という訳ではなくてその時その場の思いつきで行こうということになったのだ。「もうじき今年度も終わるな」「そうですねえ」「なにか、パーっとしてみねえか？」「ずいぶんと漠然とした提案だな」「こんなふうと思いつきで動けるのって今しかないだろ？」「・・・っても、何すんだよ？」「遊園地行ってみない！？」「・・・また唐突に・・・」「いいじゃんそれ！遊園地。ばかっぼくて！」「・・・二人で行って来いよ」「ばかいうなよ。こういうのは、みんなでやるからおもしろいんじゃないか」「えー、もしかして僕も入ってるんですかー？」確か、こんな感じだったと思う。

鶴川駅から6つ上った先にある駅の近くにあるその遊園地は、平日だから当然といえば当然だが人気ほとんどなかった。おまけにその遊園地はかなり古い作りのようで、うらさびれた趣をあちこちに漂わせていた。「だあれもいねーじゃんかよ？」「まあ、そんな遊園地も珍しいし、初体験的でおもしろくねえか？」肩を軽く叩きながら問う僕をイチはそうやってかわした。「ねえねえ、ゴーカートがあるよ」言いながら駆けるトモの後ろ姿を追いながら、数日前から痛み始めていた歯痛がまた疼き始めていた

ゴーカートに乗ってみようとしたが、時はすでに夕暮れに差しかかっている、園内もじきに閉まろうという頃合いだったのであきらめることにした。特に何かを目指してきた訳でもなかったのだから園内をぶらぶらと歩き続ける。冬の寒い風が頬を打ち、コートの襟を立てながら歯の疼きを堪える。「そろそろ、バイトの時間だ・・・」ヒロセの呟きが、この中途半端な企画を終えるちょうどいいきっかけになった。「おし、んじゃ、帰るか」・・・

ヒロセはそのままバイト先に行き、僕はイチとトモに寮に送ってもらい、部屋にこもってデリバリーで頼んだピザを齧りながら卒論の最後の追い込みにかかった。ピザをかむたびに疼く歯痛を堪えながら、卒論にもようやくめどが付きそうだった。

～・・・～

遊園地に行った当時は、それはそれで楽しかったし、楽しんだように記憶している。けれどもこうして一つのエピソードとして書きまとめてみると、中途半端でつまらない話にしか思えない。何故だろう？

15年以上という年月の経過が、記憶を書き換えてしまっているのだろうか。

あるいは物語として書く上で都合よく書き換えてしまっているのだろうか。

あるいは、その二つが折り重なって、記憶と事実と物語が混在してしまったのだろうか・・・？

何故だろう・・・？

～・・・～

それから数年後に、この遊園地は閉園となった。

～・・・～

これが、寮生活5年目の最後の話となる。

～ 第60話へつづく ～

風の子便り連載

岡本 明

バリアフリーよもやま話 第26回 「名前の手話」

手話については以前もお話したことがあります。今回は人の名前を表す手話についてご紹介します。手話で名前を表すには、その名前の文字の手話単語あるいは指文字（50音やアルファベットなどを指の形で表す）を使う方法と、その名前に固有の手話を使う方法があります。

名前の文字の手話単語あるいは指文字を使う方法は、たとえば山田さんは「山」という手話単語と「田（田んぼ）」という手話単語で表します。小川さんは「小」＋「川」です。このように漢字と手話が合っているときはいいのですが、ときには読み方が同じ別の漢字の手話が使われることがあります。たとえば原さんは、てのひらでお腹を触る「腹」が使われることがあります。吉田さんは「良し」＋「田」ですし、藪田さんは紙を破るしぐさで「やぶ」を示して「田」をつけます。読みが優先されるのでこうなるのですが、この名前の方は「違う！」と言いたくなるでしょうね。

読みが優先されるものの代表的な名前に佐藤さんがいます。「佐藤」→「さとう」→「砂糖」で、砂糖の手話単語（口の周りですてのひらを回す）が使われます。もともとこの砂糖の手話は「甘い」を表す手話で、「甘い」→「砂糖」が佐藤さんになってしまうわけです。



面白いのは、名前に固有の手話がある場合です。これはいろいろな語源があつて、へえ、なるほど、と思うものがあります。たとえば佐々木さんは、宮本武蔵と巖流島で戦った佐々木小次郎が背中にしょった長い刀を抜き差しするしぐさ（拳を背中に回して上下に動かす）です。加藤さんは、加藤清正が槍で虎退治をしたことにちなんで、両手の人差し指を出して槍を突くようなしぐさで表します。斉藤さんは、人差し指と

中指で顎を下に搔くようにします。これは、まむしの斉藤といわれた美濃の戦国大名の斉藤道三のヒゲの形だそうです。

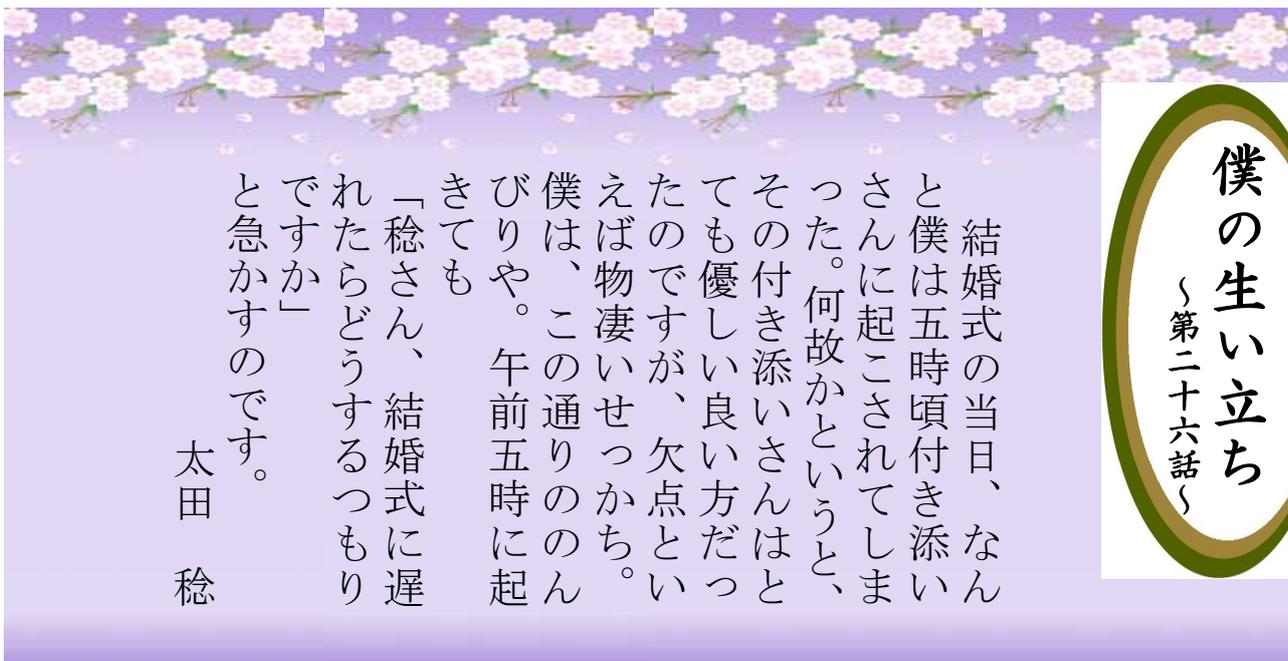
服部さんは、忍者がドロンと消えるときの人差し指と中指をくっつけた両手をずらして握るしぐさ、あるいは手裏剣を投げるしぐさです（忍者ハットリくんです）。このときは「はっとりさん」と声も出し、口の形を読み取れるようにします。長谷（はせ）さんも服部さんと同じように知らないと言えない名前ですが、これは「長い」＋「谷」と手話をしながら「はせさん」とはっきり口を示します。もしこの方が「ながたにさん」だったら、「ながたにさん」と発話することで口を読み取ってもらいます。



サインネームという表し方もあります。これは一般にごく親しい人たちの間で使われるもので、たとえばもしAさんが髪の毛がもじゃもじゃなのが特徴だとすると、頭をかき混ぜるようなしぐさはAさんを表す、Bさんがいつもイヤリングをつけているので、耳たぶを触るとBさんのこと、などが自然に決まってくるのです。これは手話のあだ名みたいなものと考えてよいでしょう。



地名の手話もその語源を探っていくと大変面白いものがたくさんあります。皆さんもちょっと調べてみませんか。



僕の生い立ち  
〜第二十六話〜

結婚式の当日、なんと僕は五時頃付き添いさんに起こされてしまった。何故かというところの付き添いさんとはとても優しい良い方だったのですが、欠点といえば物凄いいせつかち。僕は、この通りののんびりや。午前五時に起きても「稔さん、結婚式に遅れたらどうするつもりですか」と急かすのです。

太田 稔

## 休載のお知らせ

栗 顕連載の「あんぱん物語」ですが、筆者の都合により、しばらくの間休止致します。



楽しみに見ていただいている皆様には大変申し訳ありませんが、ご了承下さい。

再開は必ずいたしますので、これからもよろしく願いたします。

企画編集部一同

## 寄付のお礼

### 賛助会にご賛同下さった方

渡辺 さよ子 様、柴崎 久夫 様、森 美代子 様、鈴木 公子 様、  
中村 恭子 様、岡本 和子 様、島田 保江 様、大野 誠 様、  
長野 松男 様、阿部 りょう子 様

### 寄付をして下さった方

東京神宮ライオンズクラブ 様、永井 麻美子 様、相蘇 美紀子 様、  
高野 カネ 様、岡本 明 様、松本 成子 様、田中 あけみ 様、  
小野塚 智香子 様、飯尾 直美 様、諸角 始子 様、三木 順子 様、  
小出 一樹 様、堀 信子 様、薛陳 月美 様、小倉 英克 様、森部 清 様、  
波多野 順治 様・栄子 様、花岡 佑太 様、東京赤坂ロータリークラブ 様



### ご協力ありがとうございました



※ 11月1日～12月31日  
にご入金くださった方

# 冬季営業商品売り上げ報告



## クイズの答え

		3			2	1		2	
1	2		2	1				1	
		1					3		1
2				3	1	3		2	
2		1	1					2	
	1					0	1		0
	3		0	1	3				2
1		1					2		
	2				3	3		3	1
	2		1	2			1		

# 夕会便り

10月19日は、共同基金から頂く品物について話し合いをしました。11月15日に申請し、おりるのが来年の3月だそうです。

11月2日は、35周年記念祝賀会で風の子会の「5年間を振り返って・・・」と題して20分間のスピーチをするので、会員からいろいろなアンケートを取っていました。5年間での大きな出来事は、職員の入れ替わり（6名中5名）と4台固定のキャブを購入したこと（24年購入）・クラブ活動が始まったこと・柳川君に始まり塚田君まで会員が4名入り若手が増えた事等、沢山の意見が出てきました。

11月9日は、35周年記念で披露する合唱の練習と、クリスマス会の有無及び担当者について話し合いました。クリスマス会は例年通り行うことになり、担当者は5名に決まりました。

16日・23日は翌週30日の35周年祝賀会で披露する歌「花は咲く」を演奏して下さる小出先生の音源を元に練習しました。

12月7日は、復活させた料理教室の日程を決めました。そこでは2014年3月8日（仮）になりました。

12月14日は、岸田先生にノロウィルス対策について講義と実演（処理の仕方）を丁寧にわかりやすく教えて頂きました。

三木 直人

## 牛乳パック募集

僕らが作っている和紙製品は、牛乳パックを材料にしています。  
みんなの家で使用済みの牛乳パックがありましたら、風の子会にどんどん持ってきてください。  
よろしくお願いします。



編集後記

これからの風の子に学習会は必要なのか？  
 私はみんなでより楽しめる施設を創りたいなら学習会は必要だと思います。  
 ですが、仕事一本に絞って給料の事を優先するなら全部、学習会とかを廃止した方がいいと思います。残すなら残すで今後の新しい風の子の学習会の方向性をみんなで検討、議論中です。私は必要ないと思います。

塚田愛基

僕は、冬はあまり好きではありませんが、やむしろこの頃では、嫌いな方になってしまいました。が、たった一つだけいいことがあります。それは何かというと、お餅が美味しくなるからです。お雑煮や、海苔をお餅に巻いた磯辺巻き、きなこをお餅に塗った安倍川等々、お餅には色々な食べ方がありますが、特に一月は、お正月で僕の大好きなお餅がいっぱい食べられるので楽しみです。

太田 稔



木々にも性格があって有るのだろうか？種類の本でも同じ場所に植わっている、高さも太さも同じだと思わない、違えば1mしか離れていないのに、葉が早くに散ってしまおう木に、散らない木がある。それともその木は病気がないのか？その木だけけがな強いかな。その木だけけがな強いかな。

太田 圭子



ひとりぼっちの障害者をなくそう  
**特定非営利活動法人・風の子会**  
 ~定価40円~

編集者：【高浜生活実習所】  
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
 東京都世田谷区砧6-26-21

編集者  
 石神 太田 塚田 小野 三木 吉柳  
 佐久間 久野 中野 塚田 三木 塚田  
 松本 村久 田中 高野 亮彦 史子  
 幸田 高史 郎 史子 郎 史子 郎  
 和栗 頭 太史 郎

主事  
 子航 基聡 基聡 基聡